

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公開番号】特開2012-109979(P2012-109979A)

【公開日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2011-262739(P2011-262739)

【国際特許分類】

H 04 N 5/76 (2006.01)

G 06 F 17/30 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/76 B

G 06 F 17/30 2 1 0 C

G 06 F 17/30 1 7 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像のフレームから前記映像の識別に用いられる映像識別子を構成する特徴量ベクトルを抽出する特徴量ベクトル抽出手段と、

前記特徴量ベクトルの信頼度を算出する手段であって、前記映像が特定のパターンである場合には、より値の小さな信頼度を算出する信頼度算出手段と、

前記特徴量ベクトルと前記信頼度とを含む前記映像識別子を出力する多重化手段と、
を備える映像識別子生成装置。

【請求項2】

映像のフレームから前記映像の識別に用いられる映像識別子を構成する特徴量ベクトルを抽出し、

前記特徴量ベクトルの信頼度として、前記映像が特定のパターンである場合には、より値の小さな信頼度を算出し、

前記特徴量ベクトルと前記信頼度とを含む前記映像識別子を出力する、

映像識別子生成方法。

【請求項3】

コンピュータを、

映像のフレームから前記映像の識別に用いられる映像識別子を構成する特徴量ベクトルを抽出する特徴量ベクトル抽出手段と、

前記特徴量ベクトルの信頼度として、前記映像が特定のパターンである場合には、より値の小さな信頼度を算出する信頼度算出手段と、

前記特徴量ベクトルと前記信頼度とを含む前記映像識別子を出力する多重化手段と、
して機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0013】**

本発明の一形態にかかる映像識別子生成装置は、映像のフレームから上記映像の識別に用いられる映像識別子を構成する特徴量ベクトルを抽出する特徴量ベクトル抽出手段と、上記特徴量ベクトルの信頼度を算出する手段であって、上記映像が特定のパターンである場合には、より値の小さな信頼度を算出する信頼度算出手段と、上記特徴量ベクトルと上記信頼度とを含む上記映像識別子を出力する多重化手段とを備える。